

チンゲンサイ に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和8年1月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病虫害							希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	根こぶ病	白さび病	軟腐病	うどんこ病	さび病	灰色かび病	その他 病害虫							
ネビジン粉剤	●							20~30kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌混和	フルスルファミド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当>	36
								20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌混和			
リドミル粒剤2		●						9kg/10a	は種時又は定植時	1回	全面土壌混和	メタラキシル	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4
スターナ水和剤			●					1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	オキシリニック酸	2回以内	31
ライメイフロアブル		●						2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	アミスルプロム	6回以内(但し、土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内) <非結球あぶらな科葉菜類該当>	21
ジーファイン水和剤		●	●					1000倍 (150~500L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	- <野菜類(なすを除く)該当>	NC
								750~1000倍 (150~500L/10a)	収穫前日まで	-	散布	無水硫酸銅	-	M01
カリグリーン				●				800~1000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素カリウム	-<野菜類(トマト、ミニトマトを除く)該当>	NC
								800倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布			
ハーモメイト水溶剤				●				800~1000倍 (150~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	-<野菜類該当>	NC
								800倍 (150~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

＜殺菌剤＞ チンゲンサイ

【令和8年1月1日現在】

薬剤名	対象病虫害						希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 ＜備考＞	分類 コード
	根こぶ病	白さび病	軟腐病	うどんこ病	さび病	灰色かび病							
ランマンフロアブル		●					2000倍 (100～300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	シアゾファミド	3回以内 ＜非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当＞	21
アミスター20フロアブル		●					2000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11
ユニフォーム粒剤		●					9kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11
			メタラキシルM	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4								
Zボルドー			●				500～1000倍 (100～300L/10a)	発病前～発病初期	-	散布	塩基性硫酸銅	- ＜野菜類(キャベツを除く)該当＞	M01
						褐斑細菌病、黒腐病、黒斑細菌病、斑点細菌病、べと病	500倍 (100～300L/10a)	発病前～発病初期	-	散布			
オラクル顆粒水和剤	●						200～500倍 (#)	定植前	1回	灌注	アミスルブロム	6回以内(但し、土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内)	21
							200～300g/10a (100L/10a)	は種前又は定植前	2回 以内	全面散布後土壌混和		＜非結球あぶらな科葉菜類該当＞	

#セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3～4L)あたり500mL

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

チンゲンサイ に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和8年1月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード	
	ア ブラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ム シ ジ ノ ミ ハ	類 ハ モ グ リ バ エ	ウ ハ ス モ ン ヨ ト	ヨ ト ウ ム シ	メ イ ガ ダ ラ ノ	ハ イ マ ダ ラ ノ								その他 病虫害
フォース粒剤				●						ネキリムシ類	4kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	テフルトリン	2回以内(但し、は種前までの処理は1回以内、は種後は1回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(からしなを除く)該当>	3A
										ネキリムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布			
スタークル粒剤				●							6kg/10a	定植時	1回	土壌混和	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	4A
	●			●							6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和			
スタークル顆粒水溶剤				●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	4A
	●										3000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布			
モスピラン粒剤	●	●									3kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	アセタミプリド	2回以内(但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内)	4A
	●	●	●								0.5g/株	定植前日~定植当日	1回	株元散布			
				●								0.5g/株	定植当日	1回			
モスピラン水溶剤/ モスピラン顆粒水溶剤	●			●						カブラハバチ	4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	2回以内(但し粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内)	4A
ダントツ水溶剤	●										2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	クロチアニジン	4回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	4A
					●						2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> チンゲンサイ

【令和8年1月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード	
	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ム キ シ ジ ノ ミ ハ	類 ハ モ グ リ バ エ	ウ ハ ス モ ン ヨ ト	ヨ ト ウ ム シ	メ イ ガ ダ ラ ノ	その他 病害虫								
ダントツ粒剤	●									6kg/10a	は種時	1回	播溝処理土壌混和	クロチアニジン	4回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	4A	
										6kg/10a	定植時	1回	作条処理土壌混和				
スカウト乳剤	●									1500倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	トラロメトリン	2回以内	3A	
アグロスリン乳剤	●		●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	シペルメトリン	2回以内	3A	
ウララDF	●									4000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内	<非結球あぶらな科葉菜類該当>	29
エビセクト水和剤		●	●						マメハモグリバエ	1000倍	収穫7日前まで	2回 以内	散布	チオシクラム	2回以内	14	
パダンSG水溶剤		●		●	●					1500倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	カルタップ	3回以内	(殺虫殺菌剤)	I:14 F:U19
プレオフロアブル		●							シロイチモジヨトウ	1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	ピリダリル	2回以内	<非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、みずな、なばな類を除く)該当>	UN
コテツフロアブル		●								2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	クロルフェナピル	1回		13
エスマルクDF		●	●						●	1000~2000倍 (100~300L/10a)	発生初期 (但し、収穫前日まで)	-	散布	BT(生菌)	-	<野菜類該当>	11A
										1000倍 (100~300L/10a)	発生初期 (但し、収穫前日まで)	-	散布				
チューンアップ顆粒水和剤		●	●						●	2000~3000倍 (100~300L/10a)	発生初期 (但し、収穫前日まで)	-	散布	BT(生菌)	-	<野菜類(トマ、ミニトマトを除く)該当>	11A
										2000倍 (100~300L/10a)	発生初期 (但し、収穫前日まで)	-	散布				
											ウリノメイガ	3000倍 (100~300L/10a)	発生初期 (但し、収穫前日まで)				

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> チンゲンサイ

【令和8年1月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ム シ ジ ノ ミ ハ	類 ハ モ グ リ バ エ	ウ ハ ス モ ン ヨ ト	ヨ ト ウ ム シ	メ イ ガ ダ ラ ノ	其 他 病 害 虫							
スピノエース顆粒水和剤		●	●		●		# ●	●	アザミウマ類	2500～5000倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	スピノサド	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(みずな、非結球はく さいを除く)該当>	5
アフーム乳剤		●	●							1000～2000倍 (100～300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	エマメクチン安息 香酸塩	3回以内	6
アクセルフロアブル		●		●						1000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	メタフルミゾン	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	22B
						●				2000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布			
アニキ乳剤		●		●	●	●				1000～2000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	レピメクチン	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	6
ディアナSC		●	●		●	●	●	●	アザミウマ類	2500～5000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	スピネトラム	2回以内	5
ブロフレアSC		●	●	●						2000～4000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ブロフラニルド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	30
カスケード乳剤		●	●						マメハモグリバエ	2000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	フルフェノクスロ ン	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該 当>	15

#：「ヨトウムシ類」で登録

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。